

【谷田部地区活動レポート】 12 /12(土) 雪入ふれあいの里公園、ネイチャーセンターの見学とハイキング



12月12日（土）、会員の交流と親睦を目的に雪入ふれあいの里公園（かすみがうら市）のネイチャーセンターの見学とハイキングを行いました。参加者は13名（男性6、女性7）でした。

まず、ネイチャーセンターのハイビジョンシアターに於いて、「川面で狩りをする小鳥の様子」を3D映像で見ました。まさに目の前に小鳥が飛んでいるようでした。次に、「かすみがうら市の自然と人の営み」についての紹介の映像を見ました。また、当センター内にあるジオラマ展示室では、「雪入山の生い立ちや自然環境」について動物の標本や写真の展示から感じることができました。

次に、やさしい冬の日差しが降り注ぐなか、名残紅葉が輝いて見える山を見ながら、当センター近辺のハイキングコースを往復で約1時間散策しました。雪入山はもともと碎石場所であったとのことから大きな石があちらこちらに散見されました。ハイキングコースは急な坂道は少ないですが、各自マイペースで一步一步足を進めました。遅れそうになったときは周りの人が助けあいながら無事完歩しました。

昼食は、里山や霞ヶ浦を眼下にしながらか普段とはちょっと違う「ゆったりした気分」で弁当を食べました。

午後からは、恒例となりました「的当てゲーム」をしました。ルールなどはいつもと同じです。今回は、珍しくホールインワンが3名いました。ホールインワンが出るたびに歓声で盛り上がりました。入賞者には現地調達の高級景品が進呈されました。そして、参加者全員の一言の挨拶が有り親睦を深めました。

最後に、小杉地区長より先日実施しましたアンケートについて、「谷田部地区会員意識調査集計結果」の概要説明がありました。このように機会あるごとに必要な情報を皆さんにお知らせし、共有することは大事と思います。

コロナ禍で我慢の日々が続いているご時世ですが、本日は好天にも恵まれ、参加者の皆さんと楽しい一時を過ごす事ができました。

【文責：西田光昭】

【谷田部地区活動レポート】

9 /26(土) アダプト・ア・パーク

コロナ禍、ほとんどの活動が中止となっていました。今般、9月26日、令和2年度としては初めての行事となるアダプト・ア・パークを薬師下公園で行いました。

当日は、悪天候にもかかわらず、15名の参加がありました。なお、開催に先立ち、手の消毒、検温を行いました。37℃を超える人はいませんでした。

まず、成島副理事長のご挨拶、次に小杉地区長より年間活動計画（見直し分）の概要説明、更に新規役員の紹介と挨拶がありました。

メインのアダプト・ア・パークは参加者の皆さんが愛情をもって野球場周辺の広い公園をお世話しました。お陰様で大変きれいになりました。

この後、恒例となりました、新聞紙を丸めて作ったボールを「的」のペットボトルに向けて投げる「的当てゲーム」を行いました。「的」に当たれば、ゴルフで言うホールインワンとなります。当たらなくても距離が近いほど上位となり順位を競いました。ボールを投げるたびに一喜一憂、好プレー、珍プレーもあり大いに盛り上がりました。優勝をはじめ入賞者にはささやかなプレゼントがあり、楽しい交流となりました。

【文責：西田光昭さん】



参加者の皆さん



ゲーム風景（紙ボールを投げる）